

11月8日は いい歯の日

広告



日本歯科医師会 PRキャラクター
「よ坊さん」

県民のお口の健康を支えて100年

大分県歯科医師会（丸尾道彦会長）は今年、創立100周年を迎えます。「食べる・会話する・笑う」など、人間の生きる力を支えている口と歯。80歳で自分の歯が20本以上残っている人の医療費は、そうでない人に比べて2割少ないというデータもあります。これからも、お口の健康を通じて全身の健康を守るため、年齢に応じた効果的な歯科医療を提供し続けていきます。

子どもを対象にした取り組みとして、ことしから姫島村の小中学校をモデルに、むし歯予防のためのフッ素洗口事業を始めました。通院が困難な高齢者には、在宅歯科医療を提供しています。歯周病と糖尿病に密接な関係があることはご存じですか？メタボリックシンドローム予防のためにも、定期的な歯科検診は不可欠。いい歯の日をきっかけに、歯科医院を受診されてみてはいかがでしょうか！

大分県歯科医師会理事 柴崎 明彦

日本歯科医師会と大分県歯科医師会は
歯科医療を通じて
充実した生活をサポートします。



日本歯科医師会
<http://www.jda.or.jp/>

大分県歯科医師会
<http://www.oita-dental-a.or.jp/>